

2024年2月16日

東京電力ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 小早川 智明 様

日本共産党福島県議会議員団  
団 長 神山 悦子  
副 団 長 宮川えみ子  
幹 事 長 宮本しづえ  
政調会長 大橋 沙織

## 福島第一原発廃炉作業において発生した汚染水による被ばく、 汚染水漏えい事故の検証と再発防止を求める申し入れ

昨年10月、東京電力福島第一原発の廃炉作業中に作業員が高濃度汚染水を浴びて被ばくし、病院に搬送される重大事故が発生しました。東京電力社員は誰も現場にはおらず、下請け企業任せだった実態が明らかになりました。続いて今年7日には、高濃度汚染水が大量に漏れる事故が発生、この事故も思い込みによる単純な人為的ミスと報告されています。

連続する人為的ミスによる事故に県民は不安を募らせており、またもや東京電力の廃炉作業への信頼が大きく揺らぐ事態となっています。

県民の反対を押し切ってALPS処理水の海洋放出が強行される中で起きた連続する汚染水に関わる事故は、海洋放出にも不安と懸念が広がっています。

東京電力は、県民に不安与える連続した重大事故を深刻に捉え、徹底した原因究明と再発防止対策を講じ、県民の不安の払しょくと安全管理に取り組むよう、以下の点を強く求めます。

- 1、廃炉作業は下請け任せではなく、東京電力が責任を負う体制を構築し、廃炉作業への県民、国民の信頼を回復すること。
- 2、高濃度汚染水を取り扱う廃炉作業の中で、連続して発生した人為的なミスの原因を多方面から分析し明らかにすること。
- 3、人為的ミスを発生させないシステムの開発を含め再発防止に努めること。
- 4、事故原因と再発防止対策を県民に分かりやすく情報発信すること。
- 5、県民の不安に真摯に向き合い、連続する事故の再発防止対策を優先し、ALPS処理水海洋放出は中止すること。

以上